

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域とのつながりを持ち、事業所自体が地域の一員としての日常的な交流がのぞまれる。	自治会長やCSWなどの肩書にとらわれず、地域一般の方々が施設イベントに参加していただけるよう努力する。	イベント毎にチラシを配る。 散歩などで会話する中で、施設に親しみを持っていただき、気軽に訪問できるよう努める。	12ヶ月
2	3	地域運営推進会議の開催は、年に2回から3回へと増えているものの、まだ地域とのつながりが十分とはいえない。	1回でも多くの開催を目指す	地域福祉委員の方の協力を得ながら、地域の抱える高齢問題や近隣の方々が興味のある議題を考える。	12ヶ月
3	13	年2回の消防訓練のみならず、地域の方々の協力による災害対策と、施設会議等を利用し徹底した訓練が必要である。	年2回に限らず自主避難訓練や研修を行う。	定期的な施設会議で職員全員にマニュアルを徹底して覚えてもらえるよう、年間計画に自主避難訓練研修を入れる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。